

クマと遭遇しないためには…

● サインを見逃さない

新しいクマの糞や足跡などを見つけたら、すぐに引き返すか迂回するなどして遭遇を回避しましょう。



● 朝夕は山中に入らない

人間の静まる時間帯は、クマの活動が盛んになります。山中で行動しないようにしましょう。日中も油断は禁物です。遭遇しないように注意してください。

● グループで行動する

山中では単独行動を避け、グループで声をかけあって活動し、クマに人の気配があることを伝えましょう。

● 鈴、笛、ラジオなど音が出るものを携帯し、自分の存在を知らせる

クマは嗅覚が優れ、聴覚、視覚も人間より優秀です。音が出るものを携帯すると、人間の接近を感じ取って遠ざかります。林道脇での人身被害が起きた例もあるので、自動車から降りる際には何度かクラクションを鳴らすようにしましょう。



人の気配を感じるとクマは近づかない

● 子グマを見たら、そっと立ち去る

姿は見えなくても、親グマが近くにいる可能性が高く、とても危険です。人間が近づくと、親グマは子グマの危険を感じ、攻撃することがあります。

● 霧・風音・川の流れがあるときは要注意

クマの注意力が散漫になるため、人間の気配に気づかず、いつのまにか近くにいる可能性があります。高齢者は特に注意しましょう。

● 山菜採りやキノコ採りはほどほどに

山菜はクマも好物です。山菜の多いところにはクマがいることも多いので、足跡や糞などを見つけたら引き返しましょう。



クマの爪あと

● 不測の事態に備えて

注意していても、クマと近距離で遭遇する可能性があります。クマ撃退スプレーを持ち歩くようにしましょう。ヘルメットを着用しておく、頭部の被害を軽減することができます。



山へ入る時の持ち物。リュックには背中を守る役割も

もし、クマに遭遇してしまったら…



● クマ撃退スプレー

高価なものですが、クマが近寄ってきた場合に非常に有効です。高圧ガスでトウガラシエキスを吹きつけて、クマを撃退します。

● クマとの間に距離がある場合は、そっと立ち去る

落ち着いて、静かに立ち去りましょう。慌てないことが大切です。



クマ撃退スプレー

● 急に大声を出さない

驚くあまり、大声を出したり、物を投げつけたりすると、クマは興奮します。クマに逃げる機会を与えるよう、心がけてください。

● クマと目が合ったら、静かに退避する

クマから目を離さないようにして、できるだけゆっくりと後退してください。持ち物(帽子や衣類など)を静かに地面に置いて、クマの注意をそらしましょう。クマとの間に立木などの障害物がある位置まで移動できれば、突進を防ぐこともできます。

● 走って逃げない

クマは、「逃げるものを追う」習性があるといわれています。背中を見せて逃げることは、不要な刺激を与えることとなり、とても危険です。

● 人家周辺でも細心の注意を払う

食料を求めて、人家周辺に出没する可能性もあります。山中ではないからといって油断せず、周囲に細心の注意を払うよう心がけてください。

● 抵抗しない

攻撃が避けられない状況になったら、素早く地面のくぼみにうつ伏せになり、両手で首の後ろをガードしましょう。ダメージを最小限にするために、頭部・首部を守ることが大切です。

攻撃が避けられなかったら…

人身被害を防ぎ、クマとの共生を目指そう

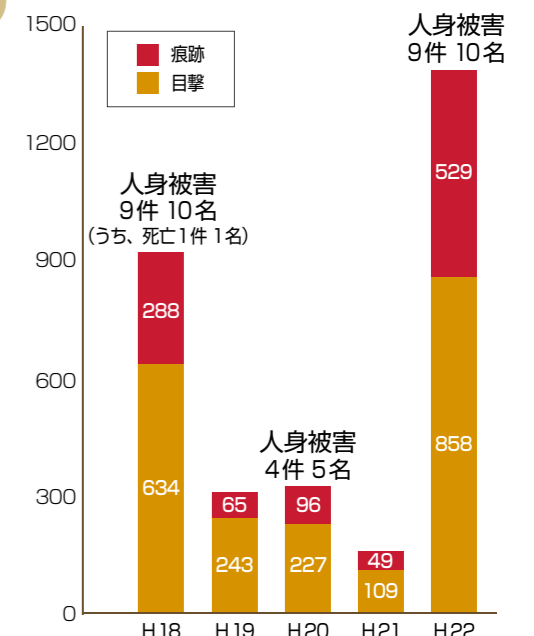
富山県内のツキノワグマ目撃・痕跡件数は、平成22年に急増しました。そのうち、人身被害は9件(10名)にのぼり、より一層の警戒が必要となっています。

しかし、ツキノワグマは猛獣ではなく、本来は臆病で温厚な動物です。富山県は、県の豊かな自然環境を保全し、生物多様性を確保するために、クマとの共生を目標にしています。そのためには、人とクマとの遭遇を少なくすることが、被害防止になり、無用な捕獲の回避にもつながります。市町村の出没情報や県のホームページで公表しているクマの出没情報地図「クマっぴ」などを活用し、出没状況を確認するようにしましょう。

クマを目撃したら、直ちに朝日町役場、入善警察署までご連絡ください。迅速な情報提供が被害防止の第一歩です。

問い合わせ先: 0765-83-1100(朝日町役場産業課)
0765-72-0110(入善警察署)

富山県 ツキノワグマ目撃・痕跡件数



クマの生態と対策

クマは主に菜食ですが、肉食もできる頑強な歯を持っています。そのため、農作物や山林に加え、家畜の被害も出ています。また、食料を求め、人里に出没することも。人身被害の危険性もあるため、生態を把握することが必要です。



クマの爪あと

生態

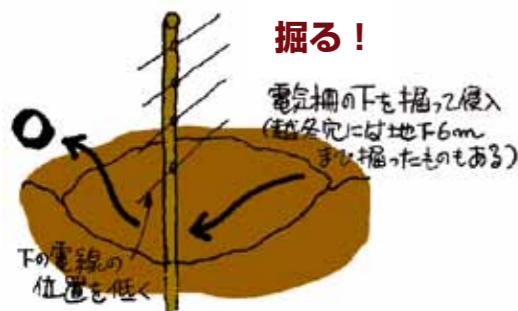
食性 自分が確保した獲物に執着し、単一の物を大量に食べます。主に食べるものとして、ドングリやクリ、クルミなどの堅果類、マタタビ、アケビ、ヤマブドウなどの漿果類、エゾニュウ、セリ類、ウワバミソウなどの草本類、アリ類、ハチ類などの昆虫が挙げられます。

行動 活動時間は明け方と夕方です。夏は午前4時～7時頃、午後5時～9時頃に活動量が多くなります。体が頑丈なわりには柔軟で、繊細にして大胆な行動をする能力があります。木登りだけでなく、狭い空間を通過する、穴を掘る、泳ぐことなども得意です。

繁殖 クマには「着床遅延」という繁殖生理があります。これは、受精卵は越冬段階で母体の栄養状態が良ければ子宮内膜に着床し、悪ければ胚が流出(流産)するというものです。そのため、餌の不作は繁殖にも直接影響を及ぼします。

特徴

- 視力は弱いですが、犬並みに鋭い嗅覚を持っています。そのため、相手を確認するためにはまず嗅覚を頼ります。
- 人間よりも聴覚に優れています。低い音に鈍感ですが、高音の笛や鈴には敏感です。
- ドングリなどが不作の年には、餌を求めて人里に出てくる場合があります。



被害状況

農作物被害はコメ、トウモロコシ類、ムギ、スイカ、ニンジン、モモ、リンゴ、ナシなど多岐に渡ります。また、山林被害、畜産被害などに加え、人身被害も深刻な問題です。

クマ被害防除ごよみ

月	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	← 越冬 →							← 交尾期 →			← 移動大 →	
クマの生態	浅い眠りで、入山注意			上旬に出産	育児	若いクマから越冬終了	高地へ移動し、ブナの葉を多く食べる	子分かれ期、笹の芽を多食		沢にいます	広葉樹林にいます	
人身被害	狩猟者の深追いに注意			営林作業中、越冬穴に落ちる。2月には作業を行わない		春グマ狩り、狩猟者	山菜取り、狩猟者の事故多くなる	山菜取り	人身事故多発	人身事故は少ない	人身事故多い	
養蜂							急に被害が多くなる	親子グマに注意、除草に注意	電気柵、漏電注意	被害最大になる		
果樹	カキ、不要の実のみ	収穫もれの果樹の始末						まれにウメ	スモモ、モモ、グミ	モモ、リンゴ	リンゴ、クリ、ナシ、クリのトタン巻き	クリ、ブドウ、カキ、ナシ、カキのトタン巻き
畑作									トウモロコシ	デントコーン、スイカ	サツマイモ、少ないがイネ	
その他		残飯の管理の徹底			残飯			皮剥ぎ				スズメバチを採食、人家被害が出る



被害防止のためのワンポイント・アドバイス

1 ゴミや食料を野外に放置しない

クマは単一の物を大量に食べるため、食料が大量にある場所を覚えると、居ついてしまいます。生ゴミ、収穫しない野菜や果物などは、クマを誘引する「食料」です。被害を出し続けないようにするためにも、放置しないようにしましょう。

2 隠れ場所をつくらない

クマは臆病な性質で、明るく見通しのよい場所を嫌います。林床や畑、果樹園などの外周の草を刈り払うと明るくなるため、クマは近寄りづらくなります。山際の集落に隣接するやぶや、河川敷や堤防などの周辺の刈り払いは、地域ぐるみで協力して進めましょう。

3 クマに遭わないために

- 車から降りる際はクラクションを30秒程度ならしましょう。
- 家の周辺に寄せ付けないため、不要な柿や栗などは片付け、生ゴミを放置しないようにしましょう。
- 家、車庫、納屋の戸締まりをしっかりとクマの隠れる場所をなくしましょう。
- 赤外線センサー付ライトを玄関や勝手口に設置するのも有効です。

